

**全道青年委員会連絡会議 研修会ワークショップ  
「建築産業界の問題点共有とその解決」**

**報告書**

**(一社)北海道建築士会 青年委員会**



平成 26 年 8 月

## 全道青年委員会連絡会議 研修会ワークショップ 「建築産業界の問題点共有とその解決」報告書

北海道建築士会 青年委員会  
委員長 針ヶ谷 拓己

### 1. 目的

アベノミクスによる景気回復や東京オリンピック開催などから、民間の設備投資や公共工事が増え、これまで不況であった建築産業界に陽ざしが注いできました。その一方で、人材不足・建築資材の高騰・確認審査の遅延などから、工期が守れない・利益が生み出せない・公共工事の入札不落などの問題も深刻化している状況であります。このような建築産業界の問題や解決について、あらゆる職域の若手建築士が集まる「全道青年委員会連絡会議」の場で、青年らしい発想のもと、建築士会ならではの、職域間の上下関係を払拭した状況で、建築産業界における「問題点の共有」と「その解決策」について熱く意見交換をしたいと考えます。

### 2. 概要

日 時：平成 26 年 3 月 29 日（土）

場 所：かでの 2・7 820 研修室（札幌市中央区北 2 条西 7 丁目）

参加者：北海道全域の青年建築士 65 名、BIM ソフト販売会社 5 名 合計 70 名

内 容：ワークショップでは協議テーマを 3 つ用意しました。テーマ 1 では「設計・施工・行政・その他」という職域ごとに分かれたグループとなり、その職域でのさまざまな「問題」を意見出します。テーマ 2 では席替えを行い、各職域混合でのグループとなり、各職域での「問題」を共有するとともに、グループ内で重要と思われる「問題」を 3 つに絞り込みます。テーマ 3 では、絞り込んだ「問題」の解決策を考えていきます。最後に数名、テーブル内で話し合われた内容を発表します。

- ①職域ごとのグループ（設計 Gr、施工 Gr、行政 Gr、その他 Gr）となり、さまざまな「問題」を意見出する
- ②職域混在グループとなるよう席替えし、各職域での「問題」を共有するとともに、重要と思われる「問題」を 3 つ程度に絞り込む
- ③絞り込んだ「問題」について解決策を考える

#### ※注意事項

- 1) 自分の考えが 1 番と決めつけ、それを他人に押し付けない
- 2) 他の意見によく耳を傾け、個々がそれらをうまくまとめながら結論づける
- 3) 他の参加者がよろこんで協力してくれるような自身の結論を導いていく
- 4) 意見を発言する場合は、できる限り手短かに話す

### 3. ワークショップの進行方法（参加者への進行案内）

#### テーマ1 「今、起きている問題は何？」

- ①手短に自己紹介をしてください（支部、氏名、仕事内容のみ）
- ②テーブルマスターを決めてください。全員で一斉にこの人と思う人を指さします。
- ③あなたの職域で起こっている問題、日常業務で起きている問題を考え、その内容を各自、模造紙へ思いつくまま落書き（文章・単語・絵）をしてください（2分間）。  
また、模造紙の真ん中へはグループ名と職域名を記入してください
- ④テーブルマスターの仕切りで、順番に目の前の落書きの説明をしてください。他の人の話を聞いて、気づきがあれば、すかさず落書きをしていきましょう
- ⑤時間に余裕があれば、出てきた意見の議論を行ってください
- ⑥最後に各自ワークショップ記入用紙へ自分の意見を記入してください（2分間）

《席替え》 各職域をミックスして問題点の情報を共有する。

#### テーマ2 「問題を共有しよう！」

- ①手短に自己紹介をしてください（支部、氏名、仕事内容のみ）
- ②テーブルマスターを決めてください。全員で一斉にこの人と思う人を指さします
- ③テーマ1で挙がった「問題」を各自、模造紙へ記入してください（2分間）。模造紙は2枚目を使用します。模造紙の真ん中は広めにスペースを空けておいてください
- ④テーブルマスターの仕切りで、順番に目の前の落書きの説明をしてください。他の人の話を聞いて、他の職域での「問題」を共有しましょう。気づきがあれば、すかさず落書きをしていきましょう
- ⑤挙がった「問題」で重要と思われるものを3つ選び、模造紙の中央へ記入してください。併せてグループ名も記入しましょう
- ⑥時間に余裕があれば、質問をするなど議論を進めてください
- ⑦最後に各自ワークショップ記入用紙へ自分の意見を記入してください（2分間）

#### テーマ3 「どうすれば解決できる？」

- ①テーマ2の「重要な問題」について解決策を考え、その内容を各自、模造紙へ思いつくまま落書き（文章・単語・絵）をしてください（2分間）。また、自分たちで解決できないものは、誰に解決してほしいのかも記入してください
- ②テーブルマスターの仕切りで、順番に目の前の落書きの説明をしてください。他の人の話を聞いて、他の職域での「問題」を共有しましょう。気づきがあれば、すかさず落書きをしていきましょう
- ③時間に余裕があれば、自分が支部へ戻って何ができるかも考えてみてください
- ④最後に各自ワークショップ記入用紙へ自分の意見を記入してください（2分間）

## ワークショップの写真



①全体の様子



②各グループの様子

平成 26 年 3 月 29 日

## ワークショップ記入用紙 (ワークショップ時記入)

テーマ1：「今、起きている問題は何か？」

あなたの職域で起きている問題、日常業務で起きている問題をご記入ください。

テーマ2：「問題を共有しよう！」

テーマ1で挙げた「問題」を各自発表し、問題を共有します。またグループ内にて、重要と思われる「問題」を3つに絞り込み、ご記入ください。

【重要な問題】

- 1.
- 2.
- 3.

テーマ3：「どうすれば解決できる？」

テーマ2の「重要な問題」について解決策をご記入ください。自分たちで解決できないものは、誰に解決してほしいのかもご記入ください。

- 1.
- 2.
- 3.

自分が支部へ戻ってできることは何か

⇒

\_\_\_\_\_  
支部

\_\_\_\_\_  
氏名：

## 4. 各グループの協議内容

別紙「各班ワークショップ記入用紙」による。

## 5. 記入データの取りまとめ

「今、起きている問題は何か？」

【設計】

★仕事が収入につながらない ★職人、技術者の不足 ★設計者、後継者が不足 ★各種書類が多すぎて品質低下 ★適正な価格が保たれていない ★増税による景気の後退 ★資材の価格や納期が不安定 ★若者の建築離れ ★仕事量と人員のバランス悪い ★デフレによる技術力や知識の低下 ★低価格化→外注出せない→テンパー→納期送れる ★市町村で図面が違う ★担当者によって法規解釈が違う ★書式が統一されていない ★構造計算適合性判定の日数がかかりすぎる ★市町村、民間審査機関で確認申請への対応が違う ★年々申請書類が多くなっている ★冬期でもボーリングが求められる ★型にはまっている ★用途上可分不可分の判断が違う ★工期や金額に自信がもてない ★確認申請以外の書類も増え、繁雑になっている ★就労環境が悪く学生に就職を勧められない ★社員教育ができない ★技術相談できるネットワークが少ない ★適判による業務の増加→利益少ない ★官庁物件の場合、構造検討事項が多く、報酬と釣り合わない ★プラントメーカーの仕事、変更が多く、報酬と釣り合わない ★給与が上がらない、上げられない ★構造設計の外注先が少ない ★経営者になりたがらない ★辞めるに辞められない

【施工】

★職人不足。工事量に比べて、絶対数が足りない ★資材不足、納期が不安定 ★現場管理者の不足 ★東京や東北へ人員が流れている ★請負金額が少ない ★職人の高齢化（現場代理人も高齢化） ★現場代理人の仕事量が多い ★年度末が忙しすぎる ★官庁物件、見積後に資材高騰や労務者単価上昇となり、工事は赤字となる ★現場スタッフ不足なのに発注者（役所）からの要求が多い ★新人の教育に手が回らない ★ISOにより仕事が煩雑 ★建設業の魅力不足 ★杭打機が混み合って手配できない ★若手職人の不足 ★職人、現場管理者の高齢化 ★資材高騰 ★資材不足 ★資材流通の速度、納期が遅い ★サッシュの納期かかりすぎ ★工期が足りない ★材料単価の値上がり ★現場代人の仕事量多い（安全、施工、書類の提出。書類が多すぎ） ★労基署が厳しい ★景気回復の実感が出ない ★本州に職人がとられている ★増税後の仕事減少 ★人材不足、人材育成 ★工期の遅れ ★職人の高齢化 ★資材の高騰 ★発注時期が遅い ★入札不落 ★雇用が明確化されていない ★積算している人は責任もってほしい ★人材不足（職人、管理者） ★高齢化 ★一人当たり（特定の人）の仕事量が多い ★資材がない、資材価格の高騰 ★質の低下、技術力の低下 ★職人を育成できない ★口は出すが、手を出さない人が多い ★はっきりと指示を出す管理職が減った ★建設業イメージアップのアピール不足 ★職員、職人不足 ★大工の高齢化 ★鉄骨、サッシュ等の製作遅れ ★資材不足 ★工期が遅れている ★残業が多い ★職人の技能

低下 ★若い成り手がいない

【行政】

★技術職員の不足 ★仕事量が増加。時間内に仕事が終わらない ★単価上昇（予算額見直し、予算不足）→作業量の増加 ★有資格者の減少 ★入札の不落、又は高い落札価格 ★技術の格差が出ている（仕事の片寄） ★職人不足→工事できない→入札不調 ★人事異動のたびに人が変わりプロフェッショナルの人がいなくなる（プロフェッショナルが育たない） ★確認申請の件数が減り、職員の技術能力低下 ★技術者が少ない ★外部の人に相談できない ★民間に負けている ★空き家が多い ★行政の力が不足している ★古い建物のノウハウがない ★実行力に欠ける ★業務範囲が広すぎ ★失敗が許されない ★自分で数量ひろわない ★技術力低下（有資格者少ない） ★耐震診断委託したいが、設計会社が対応できない ★予算カット ★施設老朽化が進み維持管理が大変 ★技術の継承ができない ★土地がない（空き地がない）都市計画の課題 ★人員不足（無資格者が多い）、主事不足 ★少人数で確認、営繕をきりもりしている ★標準工期どおりにできない ★技術者の高齢化 ★若い建築士がいない ★悪臭（市内）酪農や水産 ★職員を募集しても来ない ★老朽化した建物が多い ★廃校が売れない ★住宅の着工数減少 ★標準工期は当てにならない ★市街地の環境悪化

【その他】

★BIMが広がらない ★若手の技術力低下 ★若手が夢を持ってない ★若手が入社しない ★建築という業界のマイナスイメージ ★職人不足 ★政権により影響を受けてしまう ★利益が出ない（元請が利益出ればよいが） ★配送コスト高い ★現場のイメージが悪い ★海外の労働力を利用している ★職人不足、車不足 ★コストアップ ★消費税増税後の冷え込み ★競争激化 ★人材不足（インストラクター、リフォーム営業） ★企業の横ならび体質により、本州との温度差大きい ★天候によって工期をのばせない（外装業） ★新しい技術や思想などを大勢に伝える機会が少ない ★新しいものになかなか手を出せない ★人材育成ができていない ★技術の伝承、伝達できていない ★営業の人材が足りない ★報連相がない ★技術に見合った労務単価でない ★繁忙期、安定期の波が激しい

「特に重要な問題は何か？」

★若手の人材不足 ★価格が不安定 ★事務が多い ★若手の人材不足 ★マイナスイメージ ★問題意識が実はないのかも ★若手の人材不足 ★面倒な書類が多い ★コストバランスが悪く利益がない ★若手の人材不足 ★確認申請による書式が異なる ★材料単価の値上がり ★若手の人材不足 ★技術の継承が難しい ★資格の難しさ ★若手の人材不足 ★業界のマイナスイメージ ★利益が出ない ★若手の人材不足 ★建築予算不足 ★人員の不足 ★若手の人材不足 ★資材の不足に伴う価格の上昇 ★消費税の増税 ★若者の人材不足 ★デフレ ★業界に対するマイナスイメージ ★若手の人材不足 ★特定の人材の仕事が多い ★若い人が魅力を感じない ★若手の人材不足 ★建築という業種のイメージが悪い



★利益が出ない ★若手の人材不足 ★企業、行政の横ならび体質（新しいことへのチャレンジ精神がない） ★有資格者が少ない（建築士、建築主事など）

### 「どうすれば解決できる？」

★建築産業界のすばらしさをアピール→建築士会にてアピールすべき。外部の協力をもらう！ ★女性を投入する→男性の採用にもつながる ★様々な建築産業界の課題を建築士会が官庁にアピールして解決していく ★価格の適正化をアピール ★事務の合理化 ★人員の増加 ★賃金、労働環境整備、「年度」の複数化、多年化のあり方を見直す ★環境を良くする提案、アピールを行う ★意識化するための気づきの「場」を与える ★若手を育成する環境をつくる ★魅力ある職場をつくる ★やる気のある若者を育てる ★行政など発注者間で書式を統一してほしい ★書類の合理化、簡素化を進めてほしい ★発注者の意識改革（建設コストアップは確実なので） ★職人の年収アップ（ゼネコンや設計も） ★女性が活躍できる良質な職場環境構築 ★現場体験会の実施 ★イメージ戦略（テレビドラマやCM。キムタク、モコミチなどカリスマ性） ★給料アップ ★職場環境の向上（残業少なく、休日もしっかりとる） ★教える側、教えられる側の関係性の向上 ★くじけやすい若者にやさしいアドバイス ★教育上の問題改善（教える側も粘り強く） ★業界の魅力をアピールし、難しい資格へもチャレンジしたくさせる ★子づくり支援。建築士に子づくり指導 ★建築士試験のレベルを下げる ★女性確保 ★子どもたちに教育するなど、建築をアピールする ★企業努力（雇用） ★業界の魅力をアピール（学校の先生、ドラマ、イメージソング） ★制服など一新しては ★女性が活躍する ★単価の見直し。地域単価を決め利益を確保できる体制とする ★企業も努力する

## 6. 各職域における問題点の傾向

別紙「各職域における問題点のグラフ」「全職域における問題点のグラフ」による。

## 7. まとめ及び今後の取組み

今回のワークショップでは、各職域、各傾向の問題が浮き彫りとなりました。挙げた問題としては、「確認申請・適判の遅延」や「職人不足（高賃金の本州へ流出）」などの北海道特有のものや、どの職域でも話題に出ていた「若手の人材不足」や「資材高騰、納期遅れ」「仕事量が多すぎる」などが挙げられました。中でも重要と思われる「若手の人材不足」についての解決には、将来を担う子どもたちに対して、建築産業界の魅力を大いにアピールするとともに、現在、建築産業界に務めている若者に対しても、将来への希望を与えられるよう、各職域の上司先輩たちは、職場環境を良くしていくように努め、楽しく、そして情熱をもって仕事に携わっている姿を見せることが大切であるという意見が出されました。今後は北海道の建築産業界の問題点などを日本建築士会連合会青年委員会へ報告し、中央官庁への陳情も視野に入れながら検討を進めたいと考えております。



〔別紙 各班ワークショップ<sup>○</sup>記入用紙〕



## 各班ワークショップ記入用紙

|  |
|--|
| <p><b>テーマ1：「今、起きている問題は何か？」</b><br/>あなたの職域で起きている問題、日常業務で起きている問題をご記入ください。</p>  |
| <p>【設計】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 仕事が収入につながらない</li> <li>• 職人、技術者の不足</li> <li>• 設計者、後継者が不足</li> <li>• 各種書類が多すぎて品質低下</li> <li>• 適正な価格が保たれていない</li> <li>• 増税による景気の後退</li> <li>• 資材の価格や納期が不安定</li> <li>• 若者の建築離れ</li> <li>• 仕事量と人員のバランス悪い</li> <li>• デフレによる技術力や知識の低下</li> </ul>   |
| <p><b>テーマ2：「問題を共有しよう！」</b><br/>テーマ1で挙がった「問題」を各自発表し、問題を共有します。またグループ内にて、重要と思われる「問題」を3つに絞り込み、ご記入ください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 技術職の不足（資格取得困難）</li> <li>• 単価上昇による事務手続きの増加</li> <li>• 異動が多くプロフェッショナルが育たない</li> <li>• 職人不足（高齢化による工程遅延）</li> <li>• 職人の単価が安い</li> <li>• 若手の育成ができない</li> <li>• 建設業に魅力がない</li> <li>• 人材不足（技術継承ができない）</li> <li>• B I Mなど北海道と本州との温度差大きい（北海道は横並び意識が高い）</li> <li>• 本州の影響による工事価格の上昇</li> <li>• 設計施工が多く、設計事務所はきびしい</li> <li>• 国交省の補助金の出し方（時期など）に問題がある</li> <li>• 書類が多い</li> </ul> <p>【重要な問題】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 若手の人材不足</li> <li>2. 価格が不安定</li> <li>3. 事務が多い</li> </ol> |
| <p><b>テーマ3：「どうすれば解決できる？」</b><br/>テーマ2の「重要な問題」について解決策をご記入ください。自分たちで解決できないものは、誰に解決してほしいのかもご記入ください。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 若手の人材不足 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 建築産業界のすばらしさをアピール→建築士会にてアピールすべき。外部の協力をもらう！</li> <li>• 女性を投入する→男性の採用にもつながる</li> <li>• 様々な建築産業界の課題を建築士会が官庁にアピールして解決していく</li> </ul> </li> <li>2. 価格が不安定 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 価格の適正化をアピール</li> <li>•</li> </ul> </li> <li>3. 事務が多い <ul style="list-style-type: none"> <li>• 事務の合理化</li> <li>• 人員の増加</li> </ul> </li> </ol> <p>自分が支部へ戻ってできることは何か<br/>⇒</p>   |

## 各班ワークショップ記入用紙

|   |
|---|
| <p><b>テーマ1：「今、起きている問題は何か？」</b><br/>あなたの職域で起きている問題、日常業務で起きている問題をご記入ください。</p>   |
| <p>【設計】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 低価格化→外注させない→テンパー→納期送れる</li> <li>• 市町村で図面が違ふ</li> <li>• 担当者によって法規解釈が違ふ</li> <li>• 書式が統一されていない</li> <li>• 構造計算適合性判定の日数がかかりすぎる</li> <li>• 市町村、民間審査機関で確認申請への対応が違ふ</li> <li>• 年々申請書類が多くなっている</li> <li>• 冬期でもボーリングが求められる</li> <li>• 型にはまっている</li> <li>• 用途上可分不可分の判断が違ふ</li> <li>• 工期や金額に自信がもてない</li> <li>• 確認申請以外の書類も増え、繁雑になっている</li> </ul>  |
| <p><b>テーマ2：「問題を共有しよう！」</b><br/>テーマ1で挙がった「問題」を各自発表し、問題を共有します。またグループ内にて、重要と思われる「問題」を3つに絞り込み、ご記入ください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 現場施工での仕事量が多い</li> <li>• 職人が手配できない（足場、型枠、鉄筋）</li> <li>• 請負金額が見積時と乖離している</li> <li>• 発注者がわがまま（行政も民間も）</li> <li>• 工期の制約（年度末までの工事など）</li> <li>• 建設業界のマイナスイメージ</li> <li>• 若手が集まらない</li> <li>• 世界へのアピールが不十分</li> <li>• 職域間でコミュニケーションがとれていない</li> <li>• 仕事が忙しく業界の問題意識を考える時間もない</li> </ul> <p>【重要な問題】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 若手の人材不足</li> <li>2. マイナスイメージ</li> <li>3. 問題意識が実はないのかも</li> </ol> |
| <p><b>テーマ3：「どうすれば解決できる？」</b><br/>テーマ2の「重要な問題」について解決策をご記入ください。自分たちで解決できないものは、誰に解決してほしいのかもご記入ください。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 若手の人材不足 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 賃金、労働環境整備、「年度」の複数化、多年化のあり方を見直す</li> </ul> </li> <li>2. マイナスイメージ <ul style="list-style-type: none"> <li>• 環境を良くする提案、アピールを行う</li> </ul> </li> <li>3. 問題意識が実はないのかも <ul style="list-style-type: none"> <li>• 意識化するための気づきの「場」を与える</li> </ul> </li> </ol> <p>自分が支部へ戻ってできることは何か<br/>⇒</p>  |

B 班

氏名： 川原 昌彦

## 各班ワークショップ記入用紙

|   |
|---|
| <p><b>テーマ1：「今、起きている問題は何か？」</b><br/>あなたの職域で起きている問題、日常業務で起きている問題をご記入ください。</p> <p>【施工】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>職人不足。工事量に比べて、絶対数が足りない</li> <li>資材不足、納期が不安定</li> <li>現場管理者の不足</li> <li>東京や東北へ人員が流れている</li> <li>請負金額が少ない</li> <li>職人の高齢化（現場代理人も高齢化）</li> <li>現場代理人の仕事量が多い</li> <li>年度末が忙しすぎる</li> <li>官庁物件、見積後に資材高騰や労務者単価上昇となり、工事は赤字となる</li> <li>現場スタッフ不足なのに発注者（役所）からの要求が多い</li> <li>新人の教育に手が回らない</li> <li>ISOにより仕事が煩雑</li> <li>建設業の魅力不足</li> <li>杭打機が混み合って手配できない</li> </ul>   |
| <p><b>テーマ2：「問題を共有しよう！」</b><br/>テーマ1で挙がった「問題」を各自発表し、問題を共有します。またグループ内にて、重要と思われる「問題」を3つに絞り込み、ご記入ください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>職人不足。若い人がいない</li> <li>資材不足、資材流通の速度低下</li> <li>技術力が伝えていけない</li> <li>適判の審査スピード遅すぎる</li> <li>設計業務の低価格化で外注設計ができない</li> <li>新しいことへの取組みに後ろ向き</li> <li>企業間、本州と北海道の温度差大きい</li> <li>書類が多すぎる</li> <li>若手を育成できない</li> <li>工期不足</li> <li>景気回復を実感できない</li> <li>民間委託が増え、行政内部の技術力が低下</li> <li>業務の内容を外部に相談できない</li> <li>意外と市民の力になれない</li> </ul> <p>【重要な問題】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>若手の人材不足</li> <li>面倒な書類が多い</li> <li>コストバランスが悪く利益がない</li> </ol> |
| <p><b>テーマ3：「どうすれば解決できる？」</b><br/>テーマ2の「重要な問題」について解決策をご記入ください。自分たちで解決できないものは、誰に解決してほしいのかもご記入ください。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>若手の人材不足 <ul style="list-style-type: none"> <li>若手を育成する環境をつくる</li> <li>魅力ある職場をつくる</li> <li>やる気のある若者を育てる</li> </ul> </li> <li>面倒な書類が多い <ul style="list-style-type: none"> <li>行政など発注者間で書式を統一してほしい</li> <li>書類の合理化、簡素化を進めてほしい</li> </ul> </li> <li>コストバランスが悪く利益がない <ul style="list-style-type: none"> <li>発注者の意識改革（建設コストアップは確実なので）</li> </ul> </li> </ol> <p>自分が支部へ戻ってできることは何か<br/>⇒</p>   |

## 各班ワークショップ記入用紙

|  |
|--|
| <p><b>テーマ1：「今、起きている問題は何か？」</b><br/>あなたの職域で起きている問題、日常業務で起きている問題をご記入ください。</p>  |
| <p>【施工】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・若手職人の不足</li> <li>・職人、現場管理者の高齢化</li> <li>・資材高騰</li> <li>・資材不足</li> <li>・資材流通の速度、納期が遅い</li> <li>・サッシュの納期かかりすぎ</li> <li>・工期が足りない</li> <li>・材料単価の値上がり</li> <li>・現場代人の仕事量多い（安全、施工、書類の提出。書類が多すぎ）</li> <li>・労基署が厳しい</li> <li>・景気回復の実感が出ない</li> <li>・本州に職人がとられている</li> <li>・増税後の仕事減少</li> </ul>  |
| <p><b>テーマ2：「問題を共有しよう！」</b><br/>テーマ1で挙がった「問題」を各自発表し、問題を共有します。またグループ内にて、重要と思われる「問題」を3つに絞り込み、ご記入ください。</p>   |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・職人の高齢化</li> <li>・空き地がない</li> <li>・行政職員の経験が不足</li> <li>・職人不足、工期の目途が立たない</li> <li>・住宅着工の減少</li> <li>・市街地の環境悪化</li> <li>・建設業者のイメージ悪い（アピール不足）</li> <li>・安値の価格競争</li> <li>・配送コストが高い</li> <li>・コスト重視により質が低下している</li> <li>・各市町村で必要な図面が違う</li> <li>・担当者で法規の解釈が違う</li> <li>・確認申請書類の書式が審査機関によって異なる</li> <li>・口を出す手は出さない。管理職の指示があいまい</li> </ul> <p>【重要な問題】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 若手の人材不足</li> <li>2. 確認申請による書式が異なる</li> <li>3. 材料単価の値上がり</li> </ol> |
| <p><b>テーマ3：「どうすれば解決できる？」</b><br/>テーマ2の「重要な問題」について解決策をご記入ください。自分たちで解決できないものは、誰に解決してほしいのかもご記入ください。</p>   |
| <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 若手の人材不足 <ul style="list-style-type: none"> <li>・職人の年収アップ（ゼネコンや設計も）</li> <li>・女性が活躍できる良質な職場環境構築</li> <li>・現場体験会の実施</li> </ul> </li> <li>2. 確認申請による書式が異なる <ul style="list-style-type: none"> <li>・行政間のつながり、民間からの採用増やす</li> <li>・道が各市町村を取りまとめる</li> </ul> </li> <li>3. 材料単価の値上がり <ul style="list-style-type: none"> <li>・工事価格の見直し</li> <li>・適正な価格で取引できるような仕組みづくり</li> </ul> </li> </ol> <p>自分が支部へ戻ってできることは何か<br/>⇒</p>  |



## 各班ワークショップ記入用紙

|  |
|--|
| <p><b>テーマ1：「今、起きている問題は何？」</b><br/>あなたの職域で起きている問題、日常業務で起きている問題をご記入ください。</p> <p>【施工】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人材不足、人材育成</li> <li>・工期の遅れ</li> <li>・職人の高齢化</li> <li>・資材の高騰</li> <li>・発注時期が遅い</li> <li>・入札不落</li> <li>・雇用が明確化されていない</li> <li>・積算している人は責任もってほしい</li> </ul>  |
| <p><b>テーマ2：「問題を共有しよう！」</b><br/>テーマ1で挙がった「問題」を各自発表し、問題を共有します。またグループ内にて、重要と思われる「問題」を3つに絞り込み、ご記入ください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・安い労働力（アジア）に頼る現実</li> <li>・労働環境が悪い（給料、就業時間、休日）</li> <li>・人材不足</li> <li>・技術の継承が難しい</li> <li>・資材高騰</li> <li>・職人を育成できない</li> <li>・工事の遅れ</li> <li>・行政技術職のプロフェッショナルが育たない</li> <li>・資格取得が難しい</li> </ul> <p>【重要な問題】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 若手の人材不足</li> <li>2. 技術の継承が難しい</li> <li>3. 資格の難しさ</li> </ol>   |
| <p><b>テーマ3：「どうすれば解決できる？」</b><br/>テーマ2の「重要な問題」について解決策をご記入ください。自分たちで解決できないものは、誰に解決してほしいのかもご記入ください。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 若手の人材不足 <ul style="list-style-type: none"> <li>・イメージ戦略（テレビドラマやCM。キムタク、モコミチなどカリスマ性）</li> <li>・給料アップ</li> <li>・職場環境の向上（残業少なく、休日もしっかりとる）</li> </ul> </li> <li>2. 技術の継承が難しい <ul style="list-style-type: none"> <li>・教える側、教えられる側の関係性の向上</li> <li>・くじけやすい若者にやさしいアドバイス</li> <li>・教育上の問題改善（教える側も粘り強く）</li> </ul> </li> <li>3. 資格の難しさ <ul style="list-style-type: none"> <li>・業界の魅力をアピールし、難しい資格へもチャレンジしたくさせる</li> </ul> </li> </ol> <p>自分が支部へ戻ってできることは何か<br/>⇒</p> |

E 班

氏名： 針ヶ谷

## 各班ワークショップ記入用紙

|   |
|---|
| <b>テーマ1：「今、起きている問題は何か？」</b><br>あなたの職域で起きている問題、日常業務で起きている問題をご記入ください。   |
| 【施工】 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 人材不足（職人、管理者）</li> <li>• 高齢化</li> <li>• 一人当たり（特定の人）の仕事量が多い</li> <li>• 資材がない、資材価格の高騰</li> <li>• 質の低下、技術力の低下</li> <li>• 職人を育成できない</li> <li>• 口は出すが、手を出さない人が多い</li> <li>• はっきりと指示を出す管理職が減った</li> <li>• 建設業イメージアップのアピール不足</li> </ul>   |
| <b>テーマ2：「問題を共有しよう！」</b><br>テーマ1で挙がった「問題」を各自発表し、問題を共有します。またグループ内にて、重要と思われる「問題」を3つに絞り込み、ご記入ください。  |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>• 人材不足（若手、職人、技術者、業者）。高齢化</li> <li>• 人材育成がなされていない</li> <li>• 出世できない</li> <li>• 仕事量が多い</li> <li>• 工事の遅れ</li> <li>• 発注時期が悪い</li> <li>• 利益が出ない</li> <li>• 雇用が明確化されていない</li> <li>• 土地がない。空き家が多い。市内に悪臭</li> <li>• 住宅受注の減少</li> <li>• 若者の建築離れ</li> <li>• 資材の高騰</li> <li>• 積算がしっかりしていない</li> <li>• 業界のマイナスイメージ</li> </ul> <b>【重要な問題】</b> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 若手の人材不足</li> <li>2. 業界のマイナスイメージ</li> <li>3. 利益が出ない</li> </ol>   |
| <b>テーマ3：「どうすれば解決できる？」</b><br>テーマ2の「重要な問題」について解決策をご記入ください。自分たちで解決できないものは、誰に解決してほしいのかもご記入ください。  |
| <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 若手の人材不足           <ul style="list-style-type: none"> <li>• 子づくり支援。建築士に子づくり指導</li> <li>• 建築士試験のレベルを下げる</li> <li>• 女性確保</li> <li>• 子どもたちに教育するなど、建築をアピールする</li> </ul> </li> <li>2. 業界のマイナスイメージ           <ul style="list-style-type: none"> <li>• 企業努力（雇用）</li> <li>• 業界の魅力をアピール（学校の先生、ドラマ、イメージソング）</li> <li>• 制服など一新しては</li> <li>• 女性が活躍する</li> </ul> </li> <li>3. 利益が出ない           <ul style="list-style-type: none"> <li>• 単価の見直し。地域単価を決め利益を確保できる体制とする</li> <li>• 企業も努力する</li> </ul> </li> </ol> <p>自分が支部へ戻ってできることは何か<br/>⇒</p> |

F 班

氏名： 原 一彦

## 各班ワークショップ記入用紙

|  |
|--|
| <p><b>テーマ1：「今、起きている問題は何か？」</b><br/>あなたの職域で起きている問題、日常業務で起きている問題をご記入ください。</p> <p>【施工】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・職員、職人不足</li> <li>・大工の高齢化</li> <li>・鉄骨、サッシュ等の製作遅れ</li> <li>・資材不足</li> <li>・工期が遅れている</li> <li>・残業が多い</li> <li>・職人の技能低下</li> <li>・若い成り手がいない</li> </ul>  |
| <p><b>テーマ2：「問題を共有しよう！」</b><br/>テーマ1で挙がった「問題」を各自発表し、問題を共有します。またグループ内にて、重要と思われる「問題」を3つに絞り込み、ご記入ください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・適判の日数かかりすぎ</li> <li>・確認申請の対応、市町村で大きく違いとまどう</li> <li>・申請や届出書類が年々増加している</li> <li>・人員不足</li> <li>・入札できる受注額でない</li> <li>・職人の高齢化</li> <li>・職人の技術低下</li> <li>・資材不足</li> <li>・人事異動が多く技術者育たない</li> <li>・建築業界のイメージ悪い</li> <li>・BIMが普及しない</li> <li>・予算不足と人手不足</li> <li>・作業量が多すぎる</li> <li>・予算と実勢価格が合わない</li> </ul> <p>【重要な問題】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 若手の人材不足</li> <li>2. 建築予算不足</li> <li>3. 人員の不足</li> </ol> |
| <p><b>テーマ3：「どうすれば解決できる？」</b><br/>テーマ2の「重要な問題」について解決策をご記入ください。自分たちで解決できないものは、誰に解決してほしいのかもご記入ください。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 若手の人材不足 <ul style="list-style-type: none"> <li>・少子高齢化対策の実施</li> </ul> </li> <li>2. 建築予算不足 <ul style="list-style-type: none"> <li>・適正予算をアピールする</li> <li>・政策等により標準価格を決める</li> </ul> </li> <li>3. 人員の不足 <ul style="list-style-type: none"> <li>・建築業界のイメージアップ</li> </ul> </li> </ol> <p>自分が支部へ戻ってできることは何か<br/>⇒</p>   |

## 各班ワークショップ記入用紙

|   |
|---|
| <p><b>テーマ1：「今、起きている問題は何か？」</b><br/>あなたの職域で起きている問題、日常業務で起きている問題をご記入ください。</p> <p>【行政】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 技術職員の不足</li> <li>• 仕事量が増加。時間内に仕事が終わらない</li> <li>• 単価上昇（予算額見直し、予算不足）→作業量の増加</li> <li>• 有資格者の減少</li> <li>• 入札の不発、又は高い落札価格</li> <li>• 技術の格差が出ている（仕事の片寄）</li> <li>• 職人不足→工事できない→入札不調</li> <li>• 人事異動のたびに人が変わりプロフェッショナルの人がいなくなる（プロフェッショナルが育たない）</li> <li>• 確認申請の件数が減り、職員の技術能力低下</li> </ul>  |
| <p><b>テーマ2：「問題を共有しよう！」</b><br/>テーマ1で挙がった「問題」を各自発表し、問題を共有します。またグループ内にて、重要と思われる「問題」を3つに絞り込み、ご記入ください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 職人不足。若手の人材不足</li> <li>• 材料の値上がり</li> <li>• 消費税増税後の仕事が減少</li> <li>• 資材不足</li> <li>• 人材不足</li> <li>• 技術を伝承できない</li> <li>• 労働力不足</li> <li>• 単価上昇</li> <li>• 技術職員不足</li> <li>• 入札の不調</li> <li>• 老朽施設の管理</li> <li>• 有資格者の減少</li> <li>• 建築の魅力がない</li> </ul> <p>【重要な問題】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 若手の人材不足</li> <li>2. 資材の不足に伴う価格の上昇</li> <li>3. 消費税の増税</li> </ol>            |
| <p><b>テーマ3：「どうすれば解決できる？」</b><br/>テーマ2の「重要な問題」について解決策をご記入ください。自分たちで解決できないものは、誰に解決してほしいのかもご記入ください。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 若手の人材不足 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 魅力をアピールする</li> <li>• 利益を確保し、労働賃金を上昇させる</li> <li>• 通年雇用</li> </ul> </li> <li>2. 資材の不足に伴う価格の上昇 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 国が価格を調整</li> <li>• 再利用できるものを使用していく</li> </ul> </li> <li>3. 消費税の増税 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 景気回復</li> <li>• 国にお願いしたい</li> </ul> </li> </ol> <p>自分が支部へ戻ってできることは何か<br/>⇒楽しそうに仕事をする</p> |

H 班

氏名： 鈴木 光彦

## 各班ワークショップ記入用紙

|   |
|---|
| <p><b>テーマ1：「今、起きている問題は何か？」</b><br/>あなたの職域で起きている問題、日常業務で起きている問題をご記入ください。</p>   |
| <p>【行政】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・技術者が少ない</li> <li>・外部の人に相談できない</li> <li>・民間に負けている</li> <li>・空き家が多い</li> <li>・行政の力が不足している</li> <li>・古い建物のノウハウがない</li> <li>・実行力に欠ける</li> <li>・業務範囲が広すぎ</li> <li>・失敗が許されない</li> <li>・自分で数量ひろわない</li> <li>・技術力低下（有資格者少ない）</li> <li>・耐震診断委託したいが、設計会社が対応できない</li> <li>・予算カット</li> <li>・施設老朽化が進み維持管理が大変</li> <li>・技術の継承ができない</li> </ul>   |
| <p><b>テーマ2：「問題を共有しよう！」</b><br/>テーマ1で挙がった「問題」を各自発表し、問題を共有します。またグループ内にて、重要と思われる「問題」を3つに絞り込み、ご記入ください。</p>  |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・資格者がいない</li> <li>・入札不調</li> <li>・業界へのマイナスイメージ</li> <li>・デフレ</li> <li>・仕事がキツイ、キタナイ、キュウリョウヤスイ</li> <li>・若手が少ない</li> <li>・若手への育成ができない</li> <li>・資材の高騰</li> <li>・職人の高齢化</li> <li>・空き家が多く、空地がない</li> <li>・工程の遅れ</li> </ul> <p>【重要な問題】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 若者の人材不足</li> <li>2. デフレ</li> <li>3. 業界に対するマイナスイメージ</li> </ol>  |
| <p><b>テーマ3：「どうすれば解決できる？」</b><br/>テーマ2の「重要な問題」について解決策をご記入ください。自分たちで解決できないものは、誰に解決してほしいのかもご記入ください。</p>  |
| <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 若者の人材不足 <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもたちが将来建築士になりたくるように学校の授業で題材にしてもらう</li> <li>・給料アップ</li> </ul> </li> <li>2. デフレ <ul style="list-style-type: none"> <li>・政治に頼る（賃金アップ）</li> </ul> </li> <li>3. 業界に対するマイナスイメージ <ul style="list-style-type: none"> <li>・メディアの利用（TV番組、ゆるキャラ、マンガの題材など）</li> </ul> </li> </ol> <p>自分が支部へ戻ってできることは何か<br/>⇒他の支部でも同じ課題を抱えているので、建築業界が団結して課題に取り組む必要がある</p> |

I 班

氏名： 山田 大樹

## 各班ワークショップ記入用紙

|  |
|--|
| <p><b>テーマ1：「今、起きている問題は何か？」</b><br/>あなたの職域で起きている問題、日常業務で起きている問題をご記入ください。</p>  |
| <p>【行政】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 土地がない（空き地がない）都市計画の課題</li> <li>• 人員不足（無資格者が多い）、主事不足</li> <li>• 少人数で確認、営繕をきりもりしている</li> <li>• 標準工期どおりにできない</li> <li>• 技術者の高齢化</li> <li>• 若い建築士がいない</li> <li>• 悪臭（市内）酪農や水産</li> <li>• 職員を募集しても来ない</li> <li>• 老朽化した建物が多い</li> <li>• 廃校が売れない</li> <li>• 住宅の着工数減少</li> <li>• 標準工期は当てにならない</li> <li>• 市街地の環境悪化</li> </ul>  |
| <p><b>テーマ2：「問題を共有しよう！」</b><br/>テーマ1で挙がった「問題」を各自発表し、問題を共有します。またグループ内にて、重要と思われる「問題」を3つに絞り込み、ご記入ください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 職人不足</li> <li>• 特定の人の仕事量が多すぎる</li> <li>• 口は出すが手を出さない</li> <li>• こうすれという上司がいない</li> <li>• アピール不足</li> <li>• 本州との温度差ある</li> <li>• 報連相がない</li> <li>• 入札不調</li> <li>• 資材不足</li> <li>• 残業が多い</li> <li>• 工期割れ</li> <li>• 若い人が不足</li> </ul> <p>【重要な問題】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 若手の人材不足</li> <li>2. 特定の人の仕事量が多い</li> <li>3. 若い人が魅力を感じない</li> </ol>         |
| <p><b>テーマ3：「どうすれば解決できる？」</b><br/>テーマ2の「重要な問題」について解決策をご記入ください。自分たちで解決できないものは、誰に解決してほしいのかもご記入ください。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 若手の人材不足 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 給料アップ</li> <li>• 「金」で解決</li> </ul> </li> <li>2. 特定の人の仕事量が多い <ul style="list-style-type: none"> <li>• 責任の分配</li> <li>• 教育環境をしっかりとる</li> </ul> </li> <li>3. 若い人が魅力を感じない <ul style="list-style-type: none"> <li>• 若い人が管理職になりたくなるような、職場環境とする</li> <li>• 向上心をもつ、あるいは伝える</li> </ul> </li> </ol> <p>自分が支部へ戻ってできることは何か<br/>⇒</p> |

## 各班ワークショップ記入用紙

|  |
|--|
| <p><b>テーマ1：「今、起きている問題は何か？」</b><br/>あなたの職域で起きている問題、日常業務で起きている問題をご記入ください。</p> <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・BIMが広がらない</li> <li>・若手の技術力低下</li> <li>・若手が夢を持ってない</li> <li>・若手が入社しない</li> <li>・建築という業界のマイナスイメージ</li> <li>・職人不足</li> <li>・政権により影響を受けてしまう</li> <li>・利益が出ない（元請が利益出ればよいが）</li> <li>・配送コスト高い</li> <li>・現場のイメージが悪い</li> <li>・海外の労働力を利用している</li> <li>・職人不足、車不足</li> <li>・コストアップ</li> <li>・消費税増税後の冷え込み</li> <li>・競争激化</li> </ul>  |
| <p><b>テーマ2：「問題を共有しよう！」</b><br/>テーマ1で挙がった「問題」を各自発表し、問題を共有します。またグループ内にて、重要と思われる「問題」を3つに絞り込み、ご記入ください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人手が足りない（特に若手）</li> <li>・技術力の低下（技術の継承ができない）</li> <li>・新しいことにチャレンジできない</li> <li>・イメージが悪い</li> <li>・高齢化</li> <li>・情報が氾濫し大きな利益をとることができない</li> <li>・納期遅い、工期割れ</li> <li>・仕事量に対して人員不足</li> <li>・昔と比べ仕事の質が低下</li> <li>・入札物件の不落</li> <li>・適正価格がない</li> <li>・入札不調</li> <li>・問題意識もてない（業務に追われて余裕がない）</li> </ul> <p>利益が出ない→イメージ悪い→若手不足（負のスパイラル）</p> <p>【重要な問題】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 若手の人材不足</li> <li>2. 建築という業種のイメージが悪い</li> <li>3. 利益が出ない</li> </ol> |
| <p><b>テーマ3：「どうすれば解決できる？」</b><br/>テーマ2の「重要な問題」について解決策をご記入ください。自分たちで解決できないものは、誰に解決してほしいのかもご記入ください。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 若手の人材不足 <ul style="list-style-type: none"> <li>・賃金上昇</li> <li>・楽しく仕事ができる環境に</li> <li>・外部へ情報発信</li> </ul> </li> <li>2. 建築という業種のイメージが悪い <ul style="list-style-type: none"> <li>・ゆるキャラなどでイメージアップ</li> <li>・コンクリートから人へ→コンクリートも人も</li> </ul> </li> <li>3. 利益が出ない <ul style="list-style-type: none"> <li>・「絆」で適正な価格として、利益を得る</li> <li>・適正価格</li> </ul> </li> </ol> <p>自分が支部へ戻ってできることは何か<br/>⇒</p>   |

## 各班ワークショップ記入用紙

|  |
|--|
| <p><b>テーマ1：「今、起きている問題は何か？」</b><br/>あなたの職域で起きている問題、日常業務で起きている問題をご記入ください。</p> <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人材不足（インストラクター、リフォーム営業）</li> <li>・企業の横ならび体質により、本州との温度差大きい</li> <li>・天候によって工期をのばせない（外装業）</li> <li>・新しい技術や思想などを大勢に伝える機会が少ない</li> <li>・新しいものになかなか手を出せない</li> <li>・人材育成ができていない</li> <li>・技術の伝承、伝達できていない</li> <li>・営業の人材が足りない</li> <li>・報連相がない</li> <li>・技術に見合った労務単価でない</li> <li>・繁忙期、安定期の波が激しい</li> </ul>  |
| <p><b>テーマ2：「問題を共有しよう！」</b><br/>テーマ1で挙がった「問題」を各自発表し、問題を共有します。またグループ内にて、重要と思われる「問題」を3つに絞り込み、ご記入ください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・資材高騰</li> <li>・職人不足による工事の遅れ（職人の奪い合い）</li> <li>・職人の高齢化。若い職人が育たない</li> <li>・書類作成などの仕事量が多い（特に官庁工事）</li> <li>・法改正が多い</li> <li>・業務量と人員が釣り合わない</li> <li>・資格者が高齢化</li> <li>・空き家</li> <li>・営繕工事の適切工期がわからない</li> </ul> <p>【重要な問題】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 若手の人材不足</li> <li>2. 企業、行政の横ならび体質（新しいことへのチャレンジ精神がない）</li> <li>3. 有資格者が少ない（建築士、建築主事など）</li> </ol>  |
| <p><b>テーマ3：「どうすれば解決できる？」</b><br/>テーマ2の「重要な問題」について解決策をご記入ください。自分たちで解決できないものは、誰に解決してほしいのかもご記入ください。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 若手の人材不足 <ul style="list-style-type: none"> <li>・給料UP（お金である程度ガマンできるのでは）</li> </ul> </li> <li>2. 企業、行政の横ならび体質（新しいことへのチャレンジ精神がない） <ul style="list-style-type: none"> <li>・チャレンジ精神、勇気（結局お金?!）</li> <li>・景気向上に期待</li> </ul> </li> <li>3. 有資格者が少ない（建築士、建築主事など） <ul style="list-style-type: none"> <li>・有資格者への評価をする（資格手当）</li> <li>・会社が資格学校費用を負担</li> <li>・有資格者への給料アップ</li> </ul> </li> </ol> <p>自分が支部へ戻ってできることは何か<br/>⇒</p> |

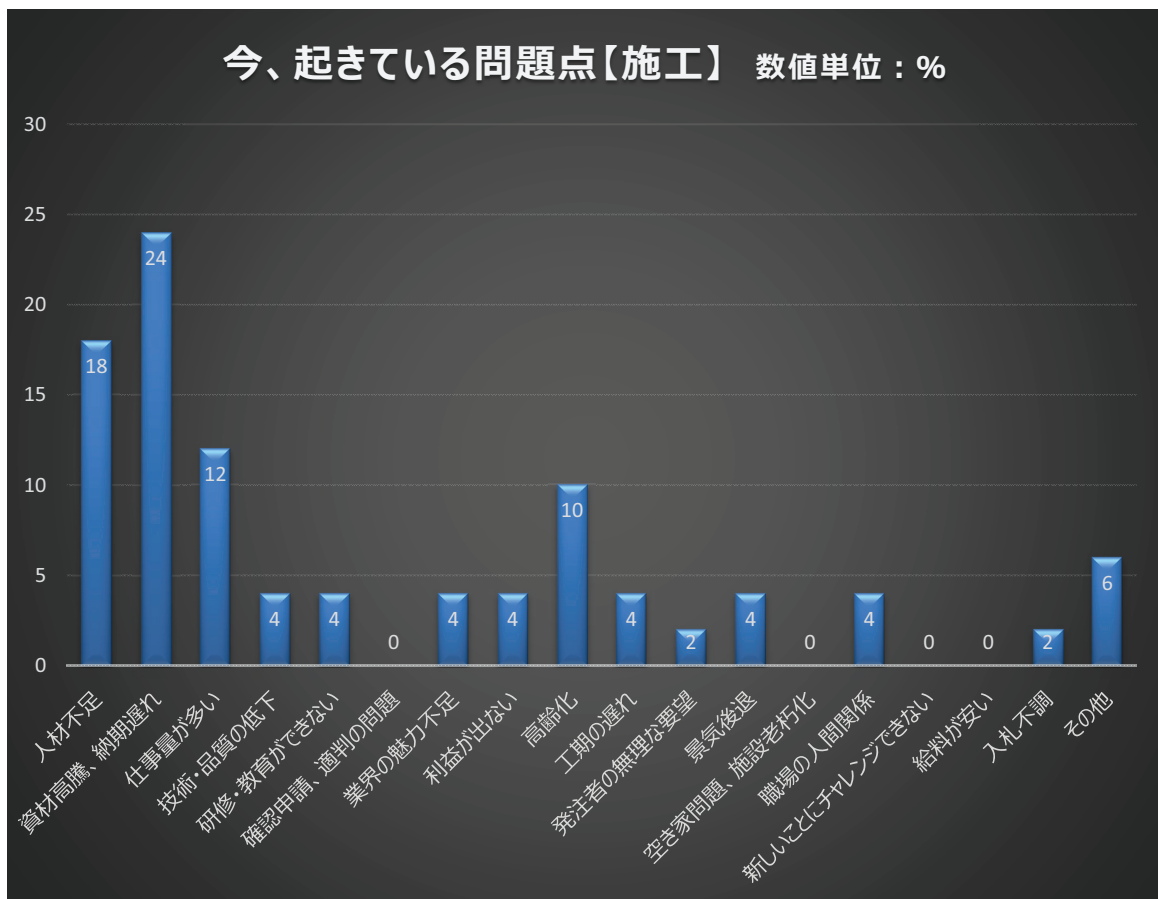
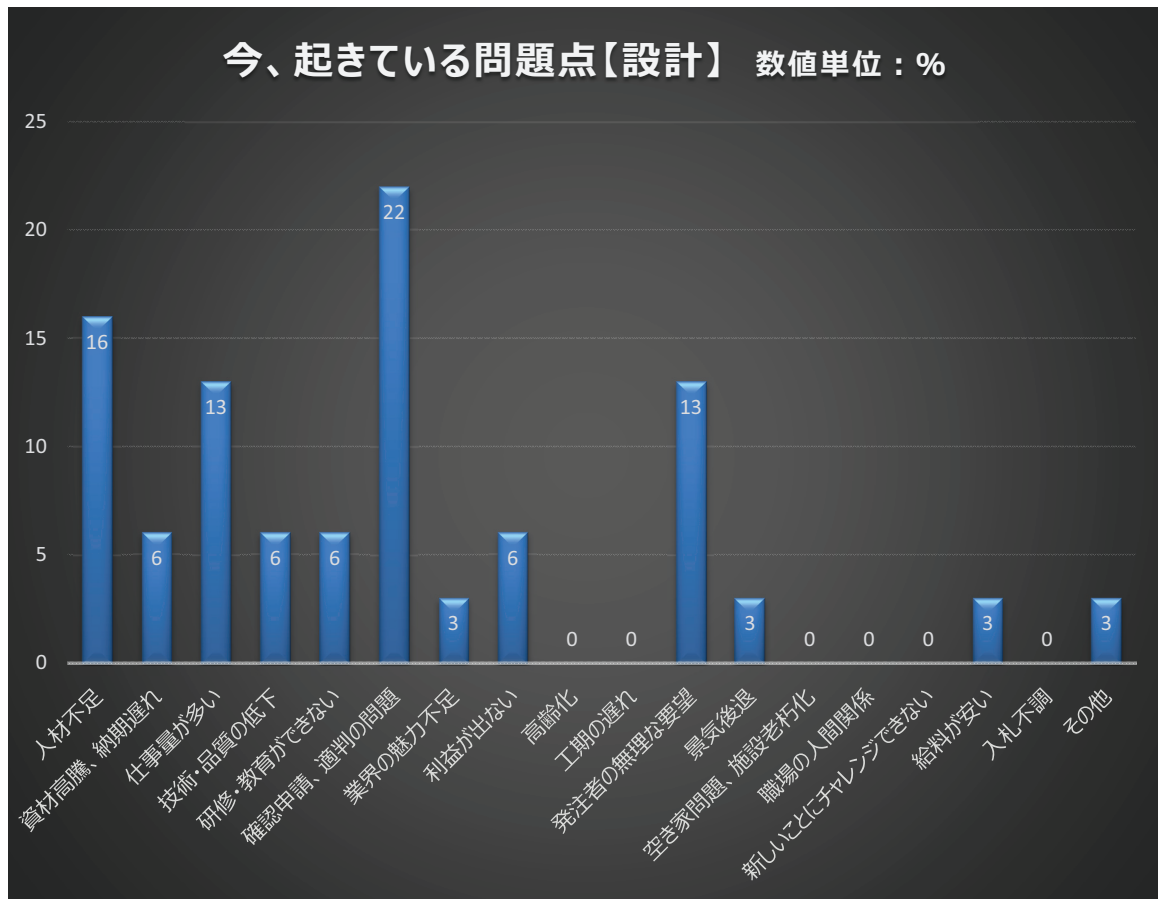
L 班

氏名： 星野 里英

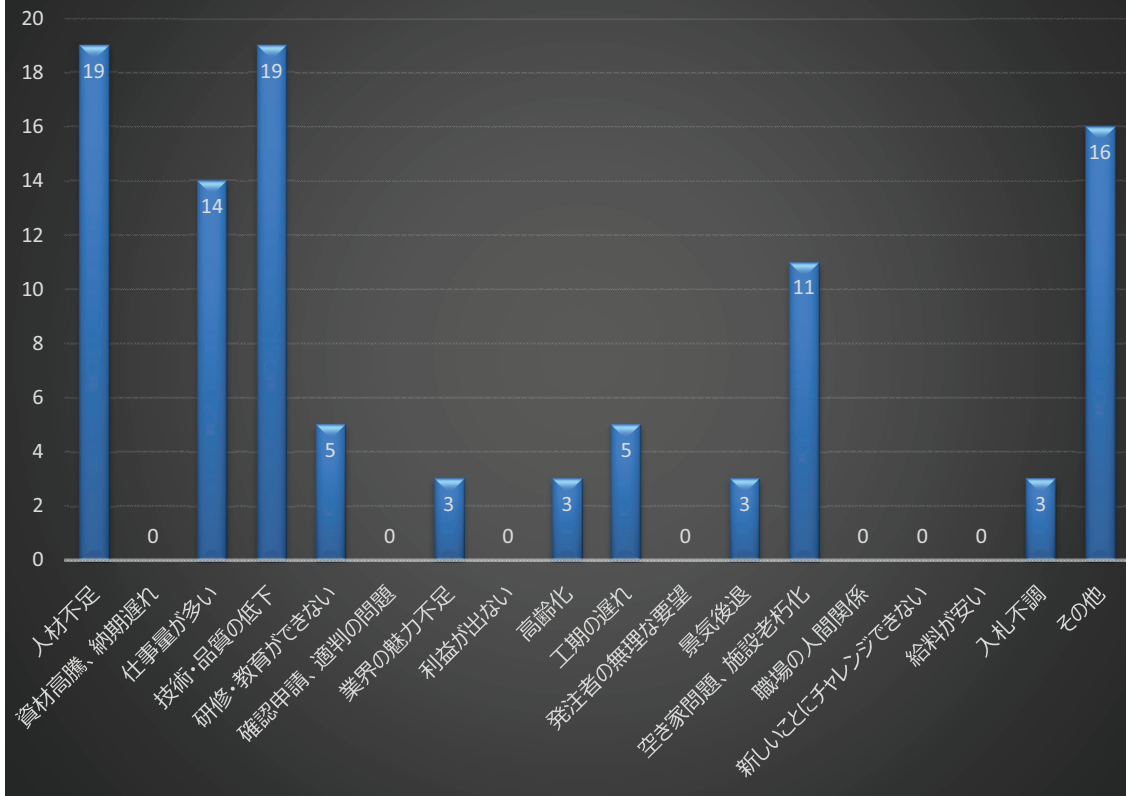


〔別紙 各職域における問題点のグラフ〕

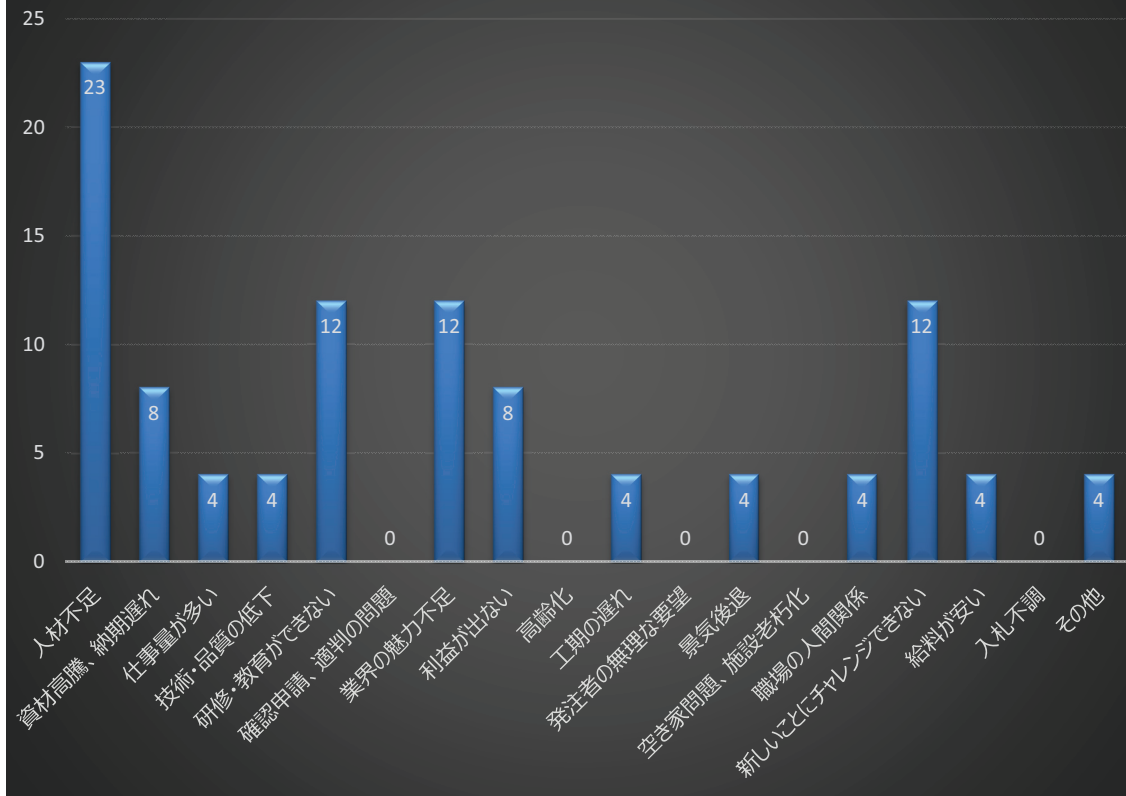




### 今、起きている問題点【行政】 数値単位：%



### 今、起きている問題点【その他】 数値単位：%



〔別紙 全職域における問題点のグラフ〕



今、起きている問題点【全職域】 数値単位：%

